



学校って、
こんなに楽しかった？
つながるって、
こんなにワクワクした？



自由を認め合い、個別と協働で学ぶ
プロジェクト型の学校 



学年をこえる  教室をこえる  想像をこえる 



義務教育学校
岐阜市立藍東学園

だれもが幸せになる学校

共生・自律・創造

同じ学年、同じ教室だけが学校じゃない。

藍東学園には、

異年齢で支え合う場、

同年齢で思考を磨く場、

地域と生きる学びの場がある。



行き来するたび、見える景色が変わる場。

それは、学びが自分ごとになるコミュニティ。

3つのコミュニティが交差し、

だれもが幸せになる学びが動き出す学校です。

そして、ここで育つのは……

◇共生

年齢、考え方、得意・不得意。
ちがいがあるからこそ、**学び合える**。
人と共に生きる力を育てます。



◇自律

「言われたからやる」から「**自分で考えて動く**」へ。
自分の**学びと行動に責任**を持つ力を育てます。

◇創造

答えのある問題だけでなく、**答えのない問い**にも**挑戦**したり**新しい価値**を創造したりします。
未来を切り拓く力を育てます。

藍東学園に3つのコミュニティを設置し「**小さな社会**」を構成
～ **だれもが幸せになる学び**が動き出す学校 ～



異年齢集団

「ファミリー」

自分の「好き」で構成する
異年齢集団「ファミリー」

ちがいの中で生活することで、一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う人間性を育みます。

同年齢集団

「クラス」

同年齢で構成する
同年齢集団「クラス」

クラスの中で学ぶことで、学年の発達段階に応じた資質・能力を育みます。

地域の仲間

「ハートメイツ」

子どもたちと共に学ぶ地域の仲間「ハートメイツ」

学校や地域を舞台に、ハートメイツと共に学ぶことで、学校の学びや経験を、社会で生きて働く力まで高めます。

正解を教える学校から、自分の答えを生み出す学校へ
藍東学園は、**学びの未来形**



学校の中に、好きでつながるもう一つの家族

異年齢集団 **ファミリー**



藍東学園のファミリー構成

藍東学園のファミリーは、学年でなく「好き」や「やってみたい」で集まります。

まち・れきしファミリー

(人文・社会学)

例：「歴史とまちの探究団」

歴史や文化、社会や言語、哲学など人間や社会への関心がある

しぜんいきものファミリー

(理学・環境学)

例：「地球といきもの探検隊」

自然や科学、環境などに関心がある

くらしからいファミリー

(生活・未来学)

例：「くらしと未来クリエイターズ」

日常生活や未来の暮らし、持続可能な社会など関心がある

つくるのらめきファミリー

(工学・創造学)

例：「ものづくりマスターズ」

ものづくりや発明、技術などに関心がある

えがおからだファミリー

(芸術・スポーツ)

例：「表現アーティスト集団」

絵画・音楽・演劇やダンス、スポーツなどの表現や身体活動に関心がある

※ファミリー名は、子どもたちが毎年考えます。

藍東学園のファミリーで大切にしていることは…

◆ 年齢はちがう。でも、ワクワクは同じ。

1年生から9年生までが一緒のファミリー。
年齢も、経験も、できることもバラバラです。
けれど、「これ面白そう！」
その気持ちは、みんな同じ。
共通の好きがあるから、自然と会話が生まれ、挑戦が始まります。



◆ 教える人、教えられる人、じゃない。

一緒に夢中になれる仲間。
年上が教える場面もあれば、年下の発想に年上が驚く場面もある。
だれもが、「教える人」にも「学ぶ人」にもなる。
ファミリーは、上下ではなく、横につながる仲間です。



◆ 学校の中に、未来の社会がある。

藍東学園のファミリーは、異年齢 × 好き × 協働。
それは、これからの社会の縮図です。
好きなことを起点に、人とつながり、自分の役割を見つけ、
未来をつくっていきます。

ファミリーの主な活動

リビングタイム

学年の壁を越えてファミリーで対話を重ねる時間です。共感力・表現力・関係性を育む学びの土台となる時間です。

給食



学年相互にサポートしながら準備・配膳・後片付けを行います。責任感や思いやり、社会性が育ちます。

掃除



異学年で掃除の仕方を一緒に考え、教え合いながら取り組みます。笑顔と会話で心がつながる時間となります。

リフレクションタイム

1日の活動を振り返り、自分や仲間の成長を認め合ったり、ファミリーの課題を解決したりする時間です。

博士探究「匠」

子ども一人ひとりの「好き」「やってみたい」を出発点に、異年齢の仲間と共に、探究を深めていく学びです。



マイプランタイム

「得意を伸ばす」や「苦手を克服する」ためにマイプランを立て、ファミリーで学び合う時間です。



学びに行く。だから、夢中になる!



クラスで学ぶ教科センター方式

学びたい! が止まらない教室へ

藍東学園の教科センター方式は、「教室へ行く」から「**学びに行く**」学習スタイル。子どもたちは、自分の学びにワクワクしながら教科の世界へ飛び込んでいきます。



◆ 教科ごとに、学びの基地がある 教科ラボラトリー (ラボ) という冒険の入口

- ・ 本物の資料
- ・ 思考を刺激する掲示
- ・ 試したくなる道具
- ・ 話し合いたくなる空間

ラボラトリーに入った瞬間、「**今日は何を発見できるだろう?**」という期待が広がります。

◆ 教科担任制だから、学びが深まる その教科のプロが、伴走 (妻) する

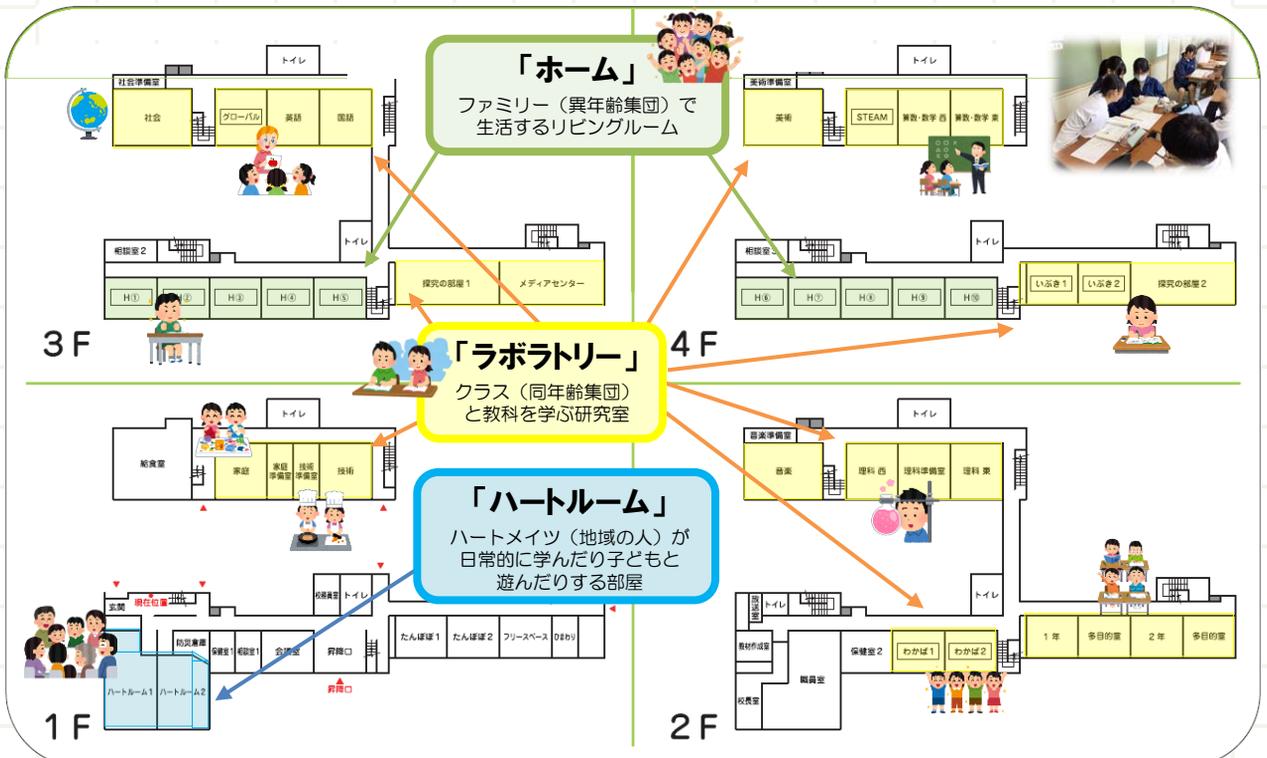
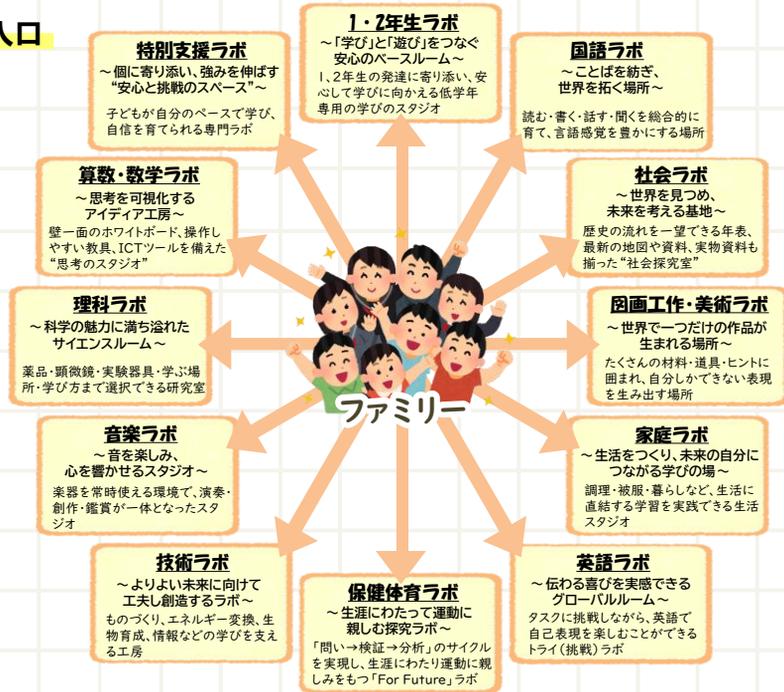
- ・ つまづきを見逃さない
- ・ 興味の芽を見逃さない
- ・ 次の第一歩を一緒に考える

学びが指示されて行動する「**作業**」から自分で選択して行動する「**探究**」に変わる

◆ 学び方は、ひとつじゃない 自分に合った学び方を選べる

- ・ じっくり考えたい
- ・ 仲間と話し合いながら進めたい
- ・ どんどん先に進みたい

教科センター方式では、**学び方の違いが、そのまま個性**。自律した学習者が育つ理由が、ここにあります。



子どもも、大人も通う学校 育ち合う毎日!



学びの仲間 「ハートメイツ」

◆ 大人も登校して学ぶ「ハートメイツ学級」

～ 学校に、子どもだけでなく**大人も通う**姿が日常的に! ～

学校には、大人も学ぶ教室「ハートルーム」がある。
大人が自分の学びのために通い、
休み時間には、子どもも大人も世代をこえて学び合う。
「それ、どうやって作ったの?」
「昔はね……」

教室では生まれぬ会話が、
休み時間に当たり前生まれる。

藍東学園は、**地域に住む子どもや大人が共に育つ学び舎**です。



◆ ハートメイツと共に活動する ～ 行事も学びも、**地域と一緒に**つくる ～

- ・ 学園・地域合同運動会
子どもも大人も、同じチームで笑い合う一日
- ・ 山田川清掃 (地域の自然を守る活動)
地域の川を、地域の手で、未来へ
- ・ 地域防災訓練
命を守る学びを、世代をこえて共有する など



◆ 大人の夢中に触れるハートメイツクラブ

ハートメイツクラブは、地域の生涯学習団体の活動をファミリー (異年齢集団) で体験します。
地域の**大人の夢中**に触れながら「活動」と「ふれあい」を楽しみます。

- ・ 合唱・合奏
- ・ スポーツ
- ・ 紙飛行機づくりなど



「教室の外にある本物の学び」に、
休み時間や放課後、自然に出会います。



地域は支える大切な存在ではない。

共に学び、共に育つ “仲間” です。

◆ 学校は、**地域の未来が集う新しい学び舎**へ。



藍東学園

(午前)

ファミリー クラス ハートメイツ

8:15

リビングタイム

心をひらいて語り合う対話の時間

朝のリビングタイムは、心をひらいて語り合う**対話の時間**。「聴いてもらえる」「受け止めてもらえる」経験を積み重ねながら、子どもたちは安心できる居場所と、あたたかなつながりを育てていきます。また、共感力・表現力・関係性を育む学びの土台となる時間でもあります。

<リビングタイム対話例>

- 月曜日 ひらく（問い・発見）不思議を出し合おう
- 火曜日 くらべる（考え・見方）不思議を考えよう
- 水曜日 つたえる（言葉・表現）発表して意見交流しよう
- 木曜日 つながる（人・共生）ファミリーお楽しみ会
- 金曜日 ふりかえる（自分・成長）今週の成長を伝えよう



8:25

ホームから教科センター「ラボラトリー(ラボ)」へ移動！



8:30

1時間目

教科センター方式による教科学習

～学びに没頭する時間が、ここから始まる～

1. 自分に合った学び方を選択

教科ラボには、教材や資料、学びを支える環境が整い、教科をよく知る専門スタッフ（教員）が寄り添います。子どもたちはマイプランをもとに、一人でじっくり考える子、友達と課題を囲んで話し合う子、先生に声をかけ、少人数で対話する子など、自分に合った学び方を選択して学びに向かいます。



9:15

9:25

2時間目

2. 学び合いが生まれる！

空間には、静かに集中する空気と考えを交わす対話の空気が共存します。「それ、どうやって考えたの?」「ここを図にすると、わかりやすいよ」そんな言葉が自然に行き交い、学び合いが生まれる教室になります。

中休み
(10:10～10:30)

遊びも、対話も、ひとり時間も大歓迎！

自分の「やりたい」を大切にしながら、次の学びの気持ちを整えます。

10:10

中休み

10:35

3時間目

3. 学びが循環する！

苦手な子が勇気を出して質問し、得意な子が一緒に考え、説明する。説明するうちに、理解がさらに深まり、学びは一人から仲間へ、仲間から自分へと巡っていきます。こうして、学ぶ人も、支える人も、共に育つ時間が生まれます。教科センター方式は、子ども一人ひとりが主役となり、学びが循環する学習のかたちです。

11:20

11:30

4時間目

ファミリー=道徳



違いに出会い、心が開く道徳

年齢も経験も考え方も違う仲間の声に耳を傾けます。「そう考えるんだ」「そんな感じ方もあるんだ」その出会いが、思いやりや共生の心を育みます。

クラス道徳



自分の心と向き合い、考えを深める道徳

同じ発達段階の仲間とともに、一つの問いにじっくりと向き合います。自分の考えを言葉にし、理由を考え、友達の意見と比べながら思考を深めます。

12:15

12:20

給食

共に準備し、味わい、語らう給食

ファミリーで給食の配膳も、食事と一緒にいきます。共に準備し、共に味わい、共に語らう。日常の中で共生と自律が育ちます。



13:00

昼休み

昼休み (with ファミリー・クラス・ハートメイツ)

昼休みは、ただの休憩時間ではありません。選り、関わり、整える。子どもたちは毎日、自分らしい居場所を行き来しながら成長していきます。



13:20

掃除

互いのちがいを認め合い、支え合いの心が働く時間

相手の立場を考え、声を掛け合う関係性。手順を考え、役割を分担。「任された」「役に立った」という実感！ ファミリー掃除は、人と場所に心が宿る時間です。



13:35

の1日



午後は、自分の「好き」「やりたい」にダイブ!



(午後)

ファミリー クラス ハートマイツ

13:45

教科センター方式による教科学習



クラス生活を基盤に、個別・ペア・少人数・全体を柔軟に行き来。得意はさらに伸ばし、つまずきは仲間と先生で丁寧に支える。個別最適な学びと協働的な学びが自然に生まれます。

とことん探究したい! (独自教科・総合的な学習)

5時間目

博士探究「匠」

自分の「好き」を出発点に、とことん深く、徹底的に探究する学び。

5つのゼミナールで、探究は本物になる! 子どもたちは、好きや関心に応じて5つのゼミナールに分かれ、異年齢ファミリーで活動します。

- まち・れきしファミリー(人文・社会学)
- しぜん・いきものファミリー(理学・環境学)
- くらし・みらいファミリー(生活・未来学)
- つくる・ひらめきファミリー(工学・創造学)
- えがお・からだファミリー(芸術・スポーツ)



好きは才能の芽! 問い続け、磨き続けることで、子どもは“匠”へと成長していきます。博士探究「匠」は、未来へつながる本気の学びです。

幸せを探究「藍東学」



学年ごとに異なるフィールドから体験を通して「だれもが幸せになる秘密」を探る学年探究「藍東学」。この体験はやがて、社会を見る目となり、自分の生き方へとつながっていく。

(例)

- 3年生「しごとはだれかをえがおにしている」(枝豆選果場)
- 4年生「続く仕事には、理由がある」(美濃和紙)
- 5年生「文化は、人をつなぐ」(鵜飼漁)
- 6年生「幸せの形は、時代で変わる」(京都・奈良)
- 7年生「幸せは、つくり出されている」(郡上八幡)
- 8年生「働くことは、生きること」(福井県漁師町)
- 9年生「幸せは、設計できる」(首都東京)

※()教材・題材

14:30

リフレクション
タイム

14:50

リフレクションタイム (14:35~14:45)

一日を、明日につなぐ時間

「今日はこれができた」「ここでつまずいた」「明日は、こうしてみよう!」一日を終わらせるのではなく、明日を始めるための時間。リフレクションタイムは、学びと心をつなぐ大切なひと時です。



6時間目

学校生活を高めたい! (特別活動)

ファミリー活動



1~9年生までのファミリーで集い、ファミリー生活や学校全体のことを語り合います。

クラス活動



同じ学年で集い、行事、学習、日常の課題を話し合います。

教科の理解を深めたい!

マイプロジェクトタイム

「伸ばしたい得意」「克服したい苦手」を自分で考え、学習内容と方法を選びプランを立て、ファミリー・クラスの中で学び合います。「わかる」を増やす時間であると同時に、「学び続ける力」を育てる時間です。(月2回程度)



15:35

放課後(自主参加)

15:35

「好き」を極めたい!



部活動

スポーツ、表現、探究など、子ども一人ひとりの「これが好き」をとことん深めます。年齢を超え、仲間と出会い、自分の世界を広げる時間です。

「苦手」を克服したい!



藍東寺子屋

「わからない・できない」が「わかった! できた!」に変わる時間。できた瞬間の笑顔が、次の一歩をつくります。

16:00

校章と校歌



<校章に込められた願い>

周りを囲っているのは藍東の「藍」にちなんだ藍の花をモチーフにしたもので、青々と茂った緑葉と小さなつぼみから花がたくさん咲くように、児童生徒もこの学園生活で健やかに仲間や先生と共に成長し、芽吹いてほしいという願いが込められています。また、藍の花というものは「調和」を意味する花で、新しい挑戦をする際に贈られる花でもあります。そんな藍の花のようにたゆまぬ努力を積み重ね、向上心を抱き続け、挑戦し続けてほしいという願いも込められています。

そして中心の4つの黄緑の輪は、学校活動や地域行事により繋がっていく地域の輪を表しており、清流長良川が流れ、新緑の山々が見守ってくれているこの自然豊かな芥見の地に支えられている私たちの、地域の方々との精力的な交流、平和な共同生活を期待した藍東学園の児童生徒の目指す姿を象徴しています。

岐阜市立藍東学園 校歌

作詞:校歌制定委員会
作曲:三宅 悠太

【1番】

語りかけるよ 山田の川は
緑の風に 光をのせて
心をひらく 学びの日々に
共に生きる 力を育て
藍東学園 光の中で
自ら立ちて 共に進む

【2番】

春を告げるよ 誓願桜
咲けば心に 勇気が宿る
未来を描く まなざし強く
共に創る 新たな明日
藍東学園 希望の空へ
響けよ我ら 未来の歌を

※校章は芥見東小学校・藍川東中学校の児童、生徒および保護者、地域の方々から原案を公募し、開校準備委員会で候補の原案を4つ選び、その原案を基に4つの校章候補を作成。4つの校章候補から全校の児童生徒、保護者によるアンケートにて決定し、岐阜市立藍東学園の校章として制定しました。

◆校歌制定について

作詞は、芥見東小学校・藍川東中学校の児童生徒、保護者、地域の方々から、歌詞に入りたい言葉やフレーズを募集。それを基に校歌制定委員会（開校準備委員会）で歌詞を制定し、作曲者の三宅悠太さんに校歌の作曲を依頼しました。

◆作曲者について

三宅 悠太（みやけ ゆうた）
東京藝術大学作曲科卒、同大学院修士課程作曲専攻修了。日本音楽コンクール作曲部門（オーケストラ作品）第一位など多くの賞を受賞。全国各地より招聘され講習会講師やコンクール審査員などを努めています。小・中・高の音楽科教科書に掲載される作・編曲作品も多く、NHK全国学校音楽コンクールの課題曲の作曲の他、数々の合唱曲を作曲し、多くの児童生徒に合唱されています。

子どもが輝くと、世界は、少しやさしくなる

藍東学園は、幸せを磨き上げていく場所

失敗してもいい

遠回りしてもいい

ここには、仲間がいる

未来は、子どもたちの中にある



岐阜市立藍東学園

〒501-3127 岐阜市大洞桜台1丁目2番地

TEL : (058) 243-2291 FAX : (058) 241-1312

URL : <https://gifu-city.schoolcms.net/aikawahigashi-j/>